

船舶事故調査報告書

平成27年9月3日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 庄司邦昭（部会長）

委員 小須田 敏

委員 根本美奈

事故種類	転覆
発生日時	不明（平成27年1月22日 13時00分ごろ以降の長崎県佐世保市高島漁港を出港した時刻～23日 08時07分ごろの間）
発生場所	不明（高島漁港～長崎県西海市平島東方沖の間）
事故調査の経過	<p>平成27年1月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。</p> <p>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。</p>
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	<p>漁船 ^{とみえ} 富恵丸、4.9トン</p> <p>NS3-503697（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>11.70m (Lr) × 2.90m × 0.89m、FRP</p> <p>ディーゼル機関、漁船法馬力数70、昭和63年9月10日</p>
乗組員等に関する情報	<p>船長 男性 61歳</p> <p>一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>免許登録日 平成15年8月8日</p> <p>免許証交付日 平成25年1月31日</p> <p>（平成30年8月10日まで有効）</p>
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	操舵室、機関室等の各設備に濡損
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、いか釣り漁の目的で、平成27年1月22日13時00分ごろ自宅を出て、高島漁港を出港し、長崎県新上五島町立串鼻付近の漁場に向かった。</p> <p>海上保安庁は、23日08時07分ごろ平島東方沖を航行している漁船から転覆している船がある旨の通報を受け、出動した。</p> <p>船長は、10時15分ごろ海上保安庁の潜水士により操舵室内から心肺停止の状態で見つかり、搬送先の病院で溺死したことが確認された。</p> <p>本船は、僚船により平島にえい航されたのち、作業船に引き起こされ、その後、廃船処理された。</p> <p>（付図1 事故発生場所概略図 参照）</p>
気象・海象	<p>気象：</p> <p>本船発見場所の西北西方約3.5海里に位置する ^{かしら} 頭ヶ島地域気象観</p>

測所の1月22日13時00分～23日08時00分の観測値は、次のとおりであった。

日付	時刻 (時:分)	平均		最大瞬間	
		風向	風速(m/s)	風向	風速(m/s)
22日	13:00	北西	4.9	北西	9.3
	14:00	北西	7.7	北西	11.3
	15:00	北西	7.1	北西	11.8
	16:00	北西	6.3	北北西	10.3
	17:00	北西	3.3	北西	7.7
	18:00	北北西	7.6	北西	12.9
	19:00	北北西	8.4	北西	13.9
	20:00	北北西	7.0	北北西	12.3
	21:00	北北西	4.8	北北西	10.3
	22:00	北北東	8.5	北北東	12.9
	23:00	北	6.2	—	—
23日	00:00	北北東	4.6	—	—
	01:00	北	6.2	—	—
	02:00	北北西	6.2	—	—
	03:00	北北西	6.2	—	—
	04:00	北北西	6.2	北北西	7.7
	05:00	北	3.5	北	7.7
	06:00	北北西	4.4	北	10.3
	07:00	北	4.7	北	9.3
	08:00	北	4.6	北北西	8.7

月齢 1月22日 1.6 (大潮)、1月23日 2.6 (大潮)

海面水温 約16℃ (気象庁 日別海面水温における解析値)

佐世保市、西海市 (江島・平島) 及び新上五島町には、1月22日04時48分に強風、波浪注意報が発表され、本船発見時、いずれも継続中であった。

その他の事項

本船は、船体等に衝突痕はなかった。

船長は、高島漁港を出港する際、天気予報を見て航行予定海域及び漁場に強風、波浪注意報が発表されていることを知っており、船長の家族が出港をやめるよう助言したものの、僚船が出漁していることを認め、本船で出港した。

船長は、いか釣り漁を行う時は、12時～13時ごろに自宅を出て、翌日の04時ごろ漁場から戻って佐世保市相浦漁港^{あいのうら}で水揚げのち、05時ごろには帰宅していた。

船長は、発見時、救命胴衣は着用していなかった。

船長の家族は、23日04時ごろ及び05時ごろに船長の携帯電話

	<p>に連絡したものの、いずれも応答がなかった。</p> <p>船長の家族は、本事故後、船長は23日に地元で用事があったので、避泊せず、無理をしてでも漁場から戻って来ようとしたのではないかと思った。</p> <p>九州沿岸水路誌によれば、平島付近では、潮流は大潮期に流速3～5ノットで各水道を流れ、強い急潮を生ずる。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、22日13時00分ごろ以降に高島漁港を出港した後、23日08時07分ごろ平島東方沖で転覆した状態で漂流しているところを発見されて通報されたことから、この間において転覆したものと考えられるが、転覆に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>船長は、転覆した船内で発見されたことから、転覆した際に溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、高島漁港を出港した後、転覆したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天気予報を確認し、出港の可否を適切に判断すること。 ・ 荒天が予想されるときは、無理な航行をせず避難すること。

付図1 事故発生場所概略図

